

◆使用上のポイント及び注意点

- 1 有機物は生・未熟、または中熟で!**
完熟堆肥ではカルスNC-Rの効果は発揮できません。
- 2 病気のついた作物残さもすべてすき込みOK!**
作物残さも大切な有機物です。
病気のついた残さでも未熟有機物(モミガラなど)と一緒にすべてをすき込み害なく土中分解できます。
- 3 石灰窒素の使用はさける!**
石灰窒素は殺菌作用があるため使用しないでください。ただし、他の石灰類は使用できますがカルスNC-Rとの増量(混合)使用はさけてください。(使用する場合は別々に圃場へ散布。)
- 4 窒素分の添加を忘れずに!**
カルスNC-R使用の際は、元肥としての窒素の他に有機物分解時に必要な窒素分を必ず添加します。
(これを忘れると、作物が窒素欠乏になる恐れがあります。)
- 5 元肥は今までどおりに!**
元肥はその作物の種類や品種に応じて、基本的には今までどおりの施肥を行います。有機物分解のための窒素を添加しても、元肥の窒素は減らさないでください。
- 6 土壌水分はタップリと!**
カルス菌を活発に働かせるために、土壌水分が少ない時はすき込み後、灌水を行ってください。
(特にハウス内で著しく乾燥している場合は、必ず灌水をしてください。)
- 7 温度に影響はありません!**
カルス菌の活動に最適な地温は15~35℃です。なお、これ以外の地温で使用されても効果に問題はあり
ません。(寒冷地や太陽熱消毒との併用でも利用できます。)



それぞれの圃場条件に合った施用方法もありますので、ご使用前に取扱店が当社までご相談ください。

■製造元

 **リサール酵産株式会社**

〒331-0802 埼玉県さいたま市北区本郷町1475
TEL048-668-3301(代) FAX048-668-3315
<http://www.os.rim.or.jp/sh01-res/>

 **0120-120-612**

強力 ラクラク! 簡単! 土づくり!

カルスNC-R®



未熟有機物を生かす

すき込みの土中発酵促進材

嫌気性複合微生物資材
NET 10kg

 **リサール酵産株式会社**

未熟有機物+カルスNC-Rこそが 土と作物をつくるのです

強力カルスNC-Rは、乳酸菌・酵母・バクテリアなど嫌気性菌を主体とする複合型の安全な土壌改良資材です。数十種類の有用菌は、担体となる上質の天然ゼオライトと合わせ、1g中5億以上含まれています。



土づくりの主役は微生物

土中深く空気のないところでも活発に動いて、生・未熟の有機物をエサとしてどんどん分解(発酵)していきます。本来は危険とされる生・未熟の有機物をそのまま利用しても、カルスNC-Rの効果で作物には悪影響をまったく与えず、堆肥づくりの手間を大幅に省いて土中堆肥化することができます。また、作物の栽培と同時に土中堆肥化させることで、分解時に得られる有益物質の作用(土中分解効果となるガス)で作物の節間をつめ、茎を太くし、根毛の発育を促進させるなど、さまざまな効果が確認されています。

強力カルスNC-Rの効果

- 1 有機物の発酵促進、堆肥づくりの手間を大幅に削減
- 2 根圏での微生物環境を改善
- 3 通気性・保水性・排水性の向上
- 4 CECの改善<保肥力の向上、肥効を改善>
- 5 集積塩類の分解<ECの低下>、pHの安定
- 6 団粒構造の形成、地温の上昇
- 7 化学肥料・農薬の使用量を軽減
- 8 作物の樹勢回復と発根促進
- 9 品質や食味の向上・増収



カルスNC-R使用量(10アール当り)

施設野菜・花卉	3~4袋(30~40kg)
露地野菜・牧草	2~3袋(20~30kg)
果樹・お茶	2~3袋(20~30kg)

<保管上の注意>

- ・未開封の製品は通常の倉庫保管であれば、当社出荷後2年間はまったく問題ありません。
- 開封後の保管方法は、袋の口をヒモで固く結びひっくり返して置くか、または、粘着テープでしっかり密封してから冷暗所に保管するなどして、できるだけ6ヵ月以内に使用してください。
- ・肥料・農薬ではありませんが、事故防止のため幼児の手の届かない場所に保管してください。

有機物投入の目安(10アール当り)

有機物の種類	有機物の量	硫安(炭素率調整)	米ヌカ(増量材)	有機物の分解期間
1 緑肥(ソルゴー)	全部	不要	200~300kg	1~2ヵ月
2 作物残さ	全部	不要	200~300kg	1~2ヵ月
3 生モミガラ	1トン (約8反~1町歩でとれる量)	40kg	200~300kg	6~10ヵ月
4 畜ふん生堆肥 (オガクズ・チップ モミガラ入り)	5~7トン	不要	200~300kg	6~10ヵ月

※左記の土中分解効果を利用するために、作物の生育期間と有機物の分解期間をできるだけ一致させます。

切り返しのいらぬ土中ボカシ

米ヌカなどの有機質を直接圃場にすき込みカルス菌の力で元肥(ボカシ肥)とすることもできます。その場合、ボカシ材料の総重量に対して5%以上のカルスNC-Rを添加し、すべてをすき込みます。(すき込み後、10日以上経てば播種・定植が可能となります。)

カルスNC-R使用手順

1 未熟有機物を散布

(最も効果的な有機物は、上記一覧の3か4)



2 カルスNC-R、元肥などを散布

(上記一覧3の場合は、窒素分の添加を必ず実施!)



3 ただちにロータリーですき込む

(散布後、2~3日以内)



4 1~3週間おいて播種・定植

(カルス菌が土と有機物になじむ準備期間)

